

空知型輪作の確立を目指す

～ 4年3作から4年4作の実践に向けて ～

対象：岩見沢市北村豊正FAM協議会 33戸（普及活動重点対象地域）

1 活動の背景

経営形態：稲作・畑作主体の経営形態、経営規模：平均規模30ha（R1年）

これまでの主な輪作品目

無代かき移植水稻、直播水稻、小麦、大豆、露地野菜 … 中心に輪作を実施！



空知型輪作を推進するため

- ・ほ場排水対策の実施
- ・田畑輪換の実施

土壌物理性改善プロジェクト
成果の推進



4年3作進んできたものの...

輪作実施率をさらに向上するための課題

- ①小麦・大豆以外の輪作品目が少ない→新規作物の導入
- ②水稻（移植）の作付面積が固定化（輪作できる面積制限）
輪作に組み込める水稻乾田直播の技術支援
- ③輪作品目の定着



2 活動の経過

① 新規作物の導入

なかなか良い生育だな～



直播てんさい等の導入を推進

② 中長期輪作計画の策定支援

輪作体系の見える化で将来像がイメージできた



輪作実施率向上
水稻固定面積解消 に向けた検討

③ 輪作品目の定着

施肥時期・施肥量を変化させると生育の違いもはっきりわかるなあ！



秋まき小麦の施肥改善を提案・実証ほを設置

普及センターの情報提供や農業者同士の情報交換により、輪作による「増収効果」「病害の減少」を実感



3 成果の具体的内容

① 新規作物の導入

直播てんさい

新規 9戸導入
平均 収量7.5t/10a
糖分16.1%

主な輪作目

水稻 小麦 大豆

直播てんさいが輪作に入って
4年4作が可能になるね!

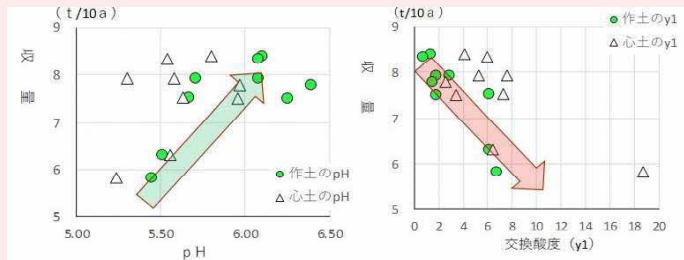


直播てんさい導入のポイント

土壌診断(pH、交換酸度)

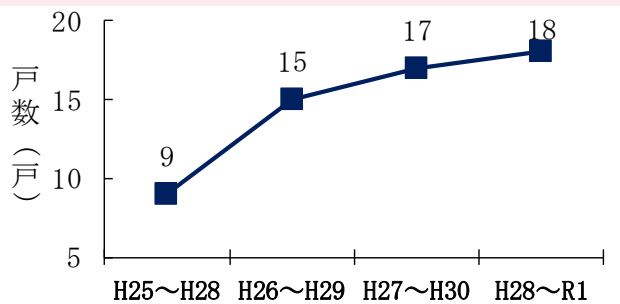
分析結果から作付け条件の良いほ場を選定

pHの改善だけでなく、交換酸度も
収量確保には重要なんだ!



② 中長期輪作計画の策定支援

4年3作30%以上を達成した農業者が1戸増加し18戸!



水稻乾田直播における省力的除草体系の提案

	出芽前処理	出芽後処理	生育中処理	生育中処理	ほ場内作業回数
試験区	茎葉処理剤	茎葉処理剤	土壌処理剤		2回
慣行区	茎葉処理剤	茎葉処理剤	茎葉処理剤	茎葉処理剤	4回

水稻乾田直播の除草体系試験 ※色付き: ほ場内作業・落水作業

輪作に組み込むことが出来る
水稻乾田直播の拡大が見込まれる

③ 輪作目目の定着

秋まき小麦 施肥体系の改善

従来 起生期重点追肥

提案 茎数に応じた
①窒素施肥量の削減
②施肥時期の遅延

増収
粒重の増加による歩留まりの向上

秋まき小麦は作付面積を
減少しても施肥体系の改善で
所得確保が可能!

4 今後の課題と対応

空知型輪作の確立

輪作実施率の長期的な安定
中長期輪作計画の作成支援



新規作物
てんさいの安定生産支援